

会 議 の 要 旨

会議の名称	第 10 回川越市介護保険事業計画等審議会
開催日時	令和 2 年 7 月 14 日 (火) 午後 2 時 00 分 開会 ・ 午後 4 時 00 分 閉会
開催場所	川越市医師会館 4 階講堂 A~C
議長氏名	会長 齊藤 正身
出席委員氏名	小高委員、大泉委員、池浜委員、矢部委員、高橋委員、樋口委員、宮山委員、川越委員、佐々木委員、橋本委員、佐藤委員、長峰委員、芝波田委員、船津委員、米原委員、原委員、矢代委員、横田委員、
欠席委員氏名	荻野委員、中原委員、田中委員
事務局職員等氏名	近藤福祉部長 高齢者いきがい課：坂口課長、内門副課長、高沢副主幹、忽滑谷副主幹 介護保険課：奥富参事、小室副課長、佐藤主幹、白石副主幹、宮原副主幹、円城副主幹 健康づくり支援課：佐藤課長、有馬主幹 地域包括ケア推進課：富田課長、渡辺副課長、山畑副主幹、内藤主査
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 報告 （1）新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う対応について （2）各種調査について 4 議事 （1）「すこやかプラン・川越 - 川越市高齢者保健福祉計画・第 8 期川越市介護保険事業計画 -」の骨子（案）について 5 その他 6 閉会
配布資料	1 次第 2 川越市の高齢者に係る新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う対応について…資料 1-1 3 川越市地域包括支援センターかすみの取組…資料 1-2 4 運動はどんなことに効果があるのか？…資料 1 参考 5 居宅介護支援事業所実態調査の見える化…資料 2-1 6 特別養護老人ホーム状況調査等の概要…資料 2-2 7 特別養護老人ホーム入所希望者調査（川越市被保険者分）…資料 2-3 8 埼玉県内広域型特別養護老人ホームの開所予定一覧…資料 2-4 9 統計データから見る川越市の高齢者の状況…資料 3-1 10 「すこやかプラン・川越 - 川越市高齢者保健福祉計画・第 8 期川越市介護保険事業計画 -」骨子（案）について…資料 3-2

	<p>11 「すこやかプラン・川越 - 川越市高齢者保健福祉計画・第8期川越市介護保険事業計画 - 」骨子（案）について（現行計画との対比表） …資料3-3</p> <p>12 川越市の高齢者・介護保険を巡る状況（川越委員 提出資料）…資料3-4</p> <p>13 U_PLACEパンフレット</p> <p>14 健幸ウォーキングマップ</p>
--	---

議事の経過

1 開会

事務局自己紹介

2 挨拶

会長による開会の挨拶

3 報告

(1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う対応について

事務局より、資料1-1を用いて報告

(会長)

医師会の活動を報告する。6月半ばよりPCRセンターをオープンし、医師会員と医師会に入っている医療機関の看護師及び事務職の3名と医師会事務局の職員が入り、4~5名で対応している。6月途中からではあるが6月は23件。7月は9日までに約20件の検査を実施し、陽性者は0人。症状が出ている場合は、ふじみ野救急クリニックや大学病院など治療を受けることができるようなところに直接行くケースも多く、医師会では初期段階にある人に対して関わりをもっている。40名以上の医師が手を挙げてくれたので、なんとか今のところは1人2回にはなっていない。10月まで継続する予定ではあるが、この状況だともっと続くと感じている。

医師会の病院や診療所の方は、コロナ感染症の人だけでなく、コロナ感染症以外の人たちも今まで通りどう守っていくのか、防波堤にならないといけないので、そこが一番大事だと感じている。病院では面会の規制や、デイサービスでは人数制限など、医療機関、福祉施設が工夫をしながら行っていると思う。障害がある人や介護が必要な人ばかりだけでなく、高齢者の行動範囲が狭くなってきているので、日常生活動作が少し落ちてきたり、フレイルと言われているが、そのような方々が増えてくるのが心配。地域リハビリテーションに関して、県の10カ所ある埼玉県地域リハビリテーションケアサポートセンターの1カ所があるが、なかなか直接お伺いすることができないので、YouTubeやDVDを作っている。資料1-2、どこの包括もいろいろな取組をしているが、一例として、地域包括支援センターかすみが事務所入り口に資料を貼っている。住民に聞いたところ、結構活用していると。このことが契機で自助・互助が進んでいければよいと思っている。

川越比企二次医療圏域で8月初めに会議が開催され、今後陽性者が多くなってきたらどう対応していくのか。入院ベッドと収容施設とそのあたりをどのようにしていくのか。今後、医療機関に問い合わせが来て、話があるのではないかと思う。医師会としても、今後も行政と一緒に調整して課題に取り組んでいきたい。

(委員)

埼玉県下の全会員、全診療所に対して、現状のお知らせや感染防止マニュアルの配付な

ど県歯科医師会を中心として厚労省や全国歯科医師会、行政と連携してきた。市歯科医師会としても関係各位の協力のもと、会員の不足しているマスク・フェイスシールド・防護服・消毒用アルコールなど随時搬入し、欠品の無いよう配布をしてきた。歯科の分野では、感染防止は重要であり、従来よりB型肝炎やHIVなどの感染予防をしてきた。感染対策により、全国の歯科医療での感染例は1例もない。しかし、健診事業や障害者施設や介護保険施設への歯科保健事業や在宅訪問歯科事業などはスタッフ全員の感染予防の徹底確認ができないため、一時中断してきた。歯科医師会としては、7月より一部再開している。マスクについては、市から歯科医師会への配布があった。今後、医療介護の施設感染や市中感染の拡大を危惧している。

(2) 各種報告について

事務局より、資料2-1、2-2、2-3、2-4を用いて報告

(委員)

質問ではなく、アドバイスとしてコメントさせてもらう。ケアマネジャーが定期巡回を使いたいがなかなか使えないという理由をもう少し詳しく見たほうが良い。1つは、ケアマネジャーが定期巡回を使いたいと思った利用者はどんな人なのか。例えば、独居の人や複数のプランニングが必要な人とかどういう人に対してケアマネジャーが必要だと感じたのかを押さえた方がよい。また他のサービスと比べてなぜ定期巡回が良いと思ったのかが、定期巡回を使っていく上で重要。また今現在定期巡回を使っている人はどんな人なのか、を押さえていた方がよい。ケアマネジャーのヒアリングや給付状況を見ていけば分かるので、そういった点を行っていけば良いのではと思う。

(会長)

7月に社会保障審議会介護給付費分科会があった。今回のテーマは、定期巡回。夜間対応型、小多機、看多機、グループホームが議題だった。やり取りを見ていても、地域密着型サービスが不足していると言ってよいのか、それとも定期巡回があれば夜間対応型はいらないのではなど国の方でも定まっていない感じがあった。どの委員も定期巡回は必要だと。

しかし、採算面の問題もあり、事業所がなかなかそちらの方に目を向けていくのは難しい状況はあるが、必要なサービスだという議論が国でこれから出てくるとは思う。川越においては、まだまだ少ない。少なくとも2カ所増えて5カ所になると良いと思う。

1つ事業所を持っているが、だんだん需要が多くなってきている。巡回するところが広がれば広がるほど、人を増やして対応しないといけない。また、夜勤をしないといけない。そんなに簡単な話ではない。

特別養護老人ホームについては、何か意見があるか。頑張って増やしてきたので、何とか足りてきたところだと思う。キングスガーデンについては何か事務局より報告はあるか。

(事務局)

昨年10月台風により被災をし、今年3月埼玉県が主体となった福祉仮設住宅を設置した。現在60名入所し、生活を送っている。災害救助法に基づいた福祉仮設住宅は法律上2年間のため、来年度までしか入居することはできない。現在、キングスガーデンの新しい移転先の整備に向け、関係機関等で補助金の活用も含めて協議しているところ。

(委員)

居宅介護支援事業所実態調査の中で、認知症対応型通所介護の不足という意見が平成30年と比較して倍近く増えたが、1年間でここまで差があるのは認知症に対する状況が変化したということか？

(事務局)

回答した事業所1カ所から聞き取りをしている。小多機・看多機・認知症対応型通所介護は似ているサービスではあるが、小多機・看多機はケアマネジャーが変わることになるため、使いにくいという面がある。認知症対応型通所介護で認知症の効果があがっている事業所にはケアマネジャーとしても利用したい場所だと話していたので、市内ケアマネジャーに認知症対応型通所介護はそういう場所だということが認知されてきたことが影響していると思っている。

(委員)

この後にもあるが、今後認知症への対応が1つの柱になると思っているので、引き続きお願いしたい。

4 議事

(1) 「すこやかプラン・川越—川越市高齢者保健福祉計画・第8期川越市介護保険事業計画—」の骨子(案)について

事務局より、資料3-1、3-2、3-3を用いて説明

委員より、資料3-4を用いて説明

(委員)

資料3-2 骨子の考え方についてで、書面会議では反省点という言葉について意見した。さらっと読むと分かるのだが、読み方によっては現行計画に何か問題があるのではないかと読み取れるので、反省点という言葉は削除またはほかの言葉に変えてほしいと意見した。それで今回課題という言葉になったが、課題は否定的な意味がある。我々が一生懸命に作った計画なので、この言葉を削除してもらいたい。

基本理念について、川越市地域福祉計画に基づき決めたと担当者から説明があったが、川越のイメージと違う。歴史と文化と伝統というのが川越らしさ。提示された理念は、ある町が民間を入れて人口を増やして、20年30年以降にこういう町を作るのだというイメ

ージをもつ。合わせなければいけないのは分かるが、もう少し違う言い方にできないのか。川越は、2022年には100周年を迎え、お祭りが全国にテレビで流れる。お祭りは、歴史文化の象徴であり、それが川越のイメージであり、歴史と文化という言葉は重要だと思う。前回7期を作る上で、川越らしさを何度も議論したので、今回上位計画を同時に策定する上で合わせたとはいかないのではと思う。

(会長)

現行計画の課題を踏まえてではなく、現状を踏まえてで良いのか？

(委員)

文章には目標に対する評価をより図れることのできる計画とするためとは書いてあるが、さらっと読むと現行計画に問題があるように読み取れる。よく読めば分かるが、現行計画を踏まえてで良い。

(会長)

すっきりすると「現状を踏まえて」にしても良いのでは。

(委員)

上位計画の地域福祉計画の理念は、第8期川越市介護保険事業計画の理念に少し外れている気がする。3つの個別計画が含まれているので、福祉計画の理念は何となくわかる。高齢者福祉や介護保険となるとふわっとした内容で、しいて言うならば現行計画の基本理念の表現の方に近いような表現が良いと思う。

(会長)

前回の計画の時に川越のイメージを共有しようということで時間をもった。本日の審議会でもそういう話をしようかとも考えたが、今回報告する事項が多く、話し合う時間がなだらうと考えた。委員からそういう話があるだろうと思っていた。8月の審議会で、川越らしさが入るような議論ができればと思っているが、時間は取れるか？

(事務局)

計画を策定する予定のスケジュールにタイミング的には間に合うかどうかではあるが、考慮したい。

(会長)

国は現在ヒアリング中。まだ国の基本方針は決まっていないので、今、決めるわけにはいかないのではと思う。

(事務局)

基本指針（案）について、厚労省に今後のスケジュールを確認したところ、社会保障審

議会介護保険部会が7月下旬になっている。全国介護保険担当課長会議の資料は7月末にHPにアップして8月上旬にWEB上で動画配信による説明があると聞いている。全国介護保険担当課長会議で基本指針(案)が提示されると聞いている。

(会長)

基本指針を受けてからでも遅くないかと。前回もこの同じ場所にいさせてもらった立場としては、基本理念は変わらない方が良いのではないかなと思う気持ちもある。方針はその都度変わるが、理念は変わらずが良いかとも思う。

(委員)

前回、川越らしさの議論の中で、この理念が出てきた背景があるので、また皆さんで議論の場を作れば良いと思う。

それと、施策の柱が5本になったということで、先ほどの説明でひとり暮らし高齢者とか高齢夫婦世帯が増える背景とか、認知症の人の問題とか、また今回持続可能なマネジメントという言葉が入ってきているが、国の指針が出てからかとは思いますが、柱の構成が変わった背景について教えてもらいたい。現行計画も踏まえて説明を加えてもらえると良い。理解が難しい。国の動きがあったのかなども説明してもらいたい。

(事務局)

基本指針(案)で示されているものや保険者機能交付金などで示されている指標などを取り入れた形で施策の柱をまとめた。

(会長)

この辺は、細かく見ていくので良いか。

(副会長)

思いは皆さん一緒に、何を中心に表に出していくのか。歴史と伝統と文化の薫り高い川越でどういう活動をしていくのかという考えがあった中で、地域福祉計画の中では、地域ごとにお年寄りが集って、集まる場所があって、仲間がいて、役割ができることを中心に福祉計画は書いていると。それも正しいし、川越の街をイメージしてどう表現するか。どちらがダメということではないと私自身は思っているが、どういう風に市民の皆さんに知ってもらえるか感じてもらうか議論する時間が欲しい。事務局と一緒に少し整理する時間がほしい。

(会長)

時間をいただき、整理をしてみたいと思う。あまり変えるのもどうかと。事務局は事務局で他の計画をあわせて考えてくれたと思うが、逆に川越らしさが消えるのはどうかと。その辺を次回までに事務局と話し合いをし、皆さんに提示していきたい。

(委員)

現行計画と次期計画で何がポイントとして変わるのかを教えてください。変わるものと変わらないものを教えてください。

コロナ禍で状況は変わっているが、どのくらい計画の中に活かしていくのかを考慮した方が良いと感じている。

データを見ると、まだまだ川越の年齢構成が意外と若く持ちこたえているのは分かったが、家族にみてほしいけど無理だと思う人の数がまだまだいることが分かった。そのほかにも、足腰が弱くなったり、外出できず閉じこもりになってしまう人の数を見たら、その人達に外に元気に出てもらうのも1つだが、高齢化が進むと頑張っても外出できないひとり暮らし高齢者の方や夫婦のみ高齢世帯の方も最後は1人になっていくと思う。そういう時に安心していただける施設というのも必要だと思う。

基本理念の中で、笑顔で迎えるというのが、だれがだれを迎えるのかが分かりにくいと思っていたが、説明の中で地域で迎えるという話を聞いて、地域の中に社会として支える施設というのを整備していくということも必要だと思う。計画自体に課題はなくても、計画を行ってみた結果うまくいかなかった部分をどう改善していくかで、次の計画の骨子に反映していければよいかなと思う。今後それが明らかになればと思う。

(会長)

次回までに事務局が整理していくので、私たちもチェックしていく。時間がもてれば、こういう温かい言葉を入れた方がよいとか、先ほどの施設の話もだが、在宅にしようと施設にしようと豊かな暮らしができるようにするにはどうしたら良いかなど、うまく入ってくるような内容になればと思う。次回まで、そんな形で進めさせていただいてよいかな。資料3-4の委員に提出いただいた資料は、今回の審議会だけで使うのはもったいない。いろいろ今後使わせてもらって良いかな。

(委員)

了解

(会長)

委員の提出資料は事業計画を作る時に参考資料として入れさせていただき、市民が見られるようにした方が良くと思うので、そうさせていただく。

(委員)

今回の資料から多少変わると追加になるところがある。

第8期計画の基本指針(案)が出てまして、6点言われている。この6点が今回のポイントとなる。

また、2040年を見据えた介護保険制度改革の全体像も示されている。3つの改革。介護予防地域づくりの推進と共生・予防を中心とした認知症施策の推進。2つめは、地域包括ケアシステムの推進で、地域特性に応じて介護基盤の整備、質の高いマネジメントを展開

しなさいというもの。3つめは、介護現場の革新で人材確保と生産性の向上。8期計画の改正の方向性を見据えていくと、7期計画から見直しを図って、8期計画で枠組みを7つから5つに見直したのは良いと思っている。5つの施策のところは2つ目に認知症が良いかと思う。それを支えるための地域の支援と介護サービスの充実。全体的に支えるという流れで持続可能な介護保険制度の運営の方が良いのかと感想として思った。

(会長)

今、お話しした内容を次回お見せできるようにしてください。

(事務局)

次回、審議会でお示ししていく。

(委員)

議論が少ないのが、人材確保。三重県では、老健施設で外部の元気な高齢者が入ってもらっている取組がある。人材の有効活用で地域での役割創出とかすべてに連動する。人材不足の補完でもあり、生きがいくくりにもつながっていく。人的確保についても連動して検討しているようなことは出されたほうが良いかと思う。別枠にすると重くなるので、中に入れ込んだ方がよい。

(会長)

特養の朝の忙しい時間に地域の高齢者がボランティアとしてベッドメイキングなどに来てくれるような取組が始まっている。これはとても助かる時間帯で、そういう意味での人材というものもある。今回のコロナのこともあって、看護師さんの応募が多い。東京の急性期に勤めていた看護師が疲れ果てて働きたいという人をウエルカムといって良いかという思いもある。しかし、介護は全然こない。まったく介護は募集しても来ないのが現状。魅力ある形にしないといけないと思っている。アイデアまでいなくても目標まで立てられればと思う。

コロナのことは何か加えていった方が良いか。今、具体的に何かとは言えないが、感染症対策、介護の現場の教育のようなものを入れていくと違うかと。個々の事業所で行うのは大変なので、災害とか感染症が起こった時の介護現場での対応などの研修等について市がバックアップしてくれるとありがたい。お金のかかる話ではないので、入れられるようにしていったらと思う。

(委員)

コロナが介護現場にどう影響を与えたかについては、緊急調査を5月に実施した。介護給付費分科会の報告で並走して行っている。問題点とか先進的に行っている事例とかあるので、そういったものから川越市がどう取り組んでいくのか引っ張ってこれれば良いのかと思う。

(会長)

その辺も調べてもらい、データを集めてもらいながら、川越もうまく中に取り入れられるように考えていきましょう。

今日は集まっていたくのが良いのか迷ったが、集まって直接お話してもらって良かった。しかし、今後はこれだけの人数が集まって良いのかどうかとも出てくる。自分がこの3カ月間、参加した会議はすべてWEBであった。委員によっては、市外から来ていただいたがWEBにするとかもあるかと考える。

5 その他

特になし

6 閉会